

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじん にほんきじゅつきょうかい 公益社団法人 日本奇術協会	団体ウェブサイトURL https://www.jpma.net/
代表者職・氏名	会長 正木慎一	
制作団体所在地	〒 169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3-402	最寄り駅(バス停) JR総武線 大久保駅
電話番号	03-3361-5221	
ふりがな 公演団体名	こうえき しゃだんほうじん にほんきじゅつきょうかい 公益社団法人 日本奇術協会	団体ウェブサイトURL https://www.jpma.net/
代表者職・氏名	会長 正木慎一	
公演団体所在地	〒 169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3-402	最寄り駅(バス停) JR総武線 大久保駅
制作団体 設立年月	1936年 12月	
制作団体組織	役職員 ◎会長:正木慎一 ◎副会長:長谷和幸 ◎常任理事:加藤明彦 ◎理事:林 太・後藤尚美・渡邊奈月 北野隆義・小林 昭・中 崇 長谷川一也・高岡若葉 ◎常任監事:松下敏雄 ◎監事:佐藤元一・近藤哲司	団体構成員及び加入条件等 「正会員」この法人の目的に賛同し理事2名以上の推薦に基づき入会した職業奇術師。 「準会員」この法人の目的に賛同し理事2名以上の推薦に基づき入会した職業奇術師。 「賛助会員」この法人の事業を援助する個人または法人。 「名誉会員」この法人に特に功労のあった者、学識経験者で総会の決議をもって推薦された者。
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者を置く	本事業担当者名 小林 昭
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 伊藤利一

<p>制作団体沿革</p>	<p>◎昭和11年12月 「第1回集会」(目黒雅叙園) ◎平成2年 12月3日を「奇術の日」と制定する。 ◎平成5年3月 公益法人許可を受け「社団法人 日本奇術協会」となる。 ◎平成9年5月 「和妻」は[記録作成の措置を講ずべき無形文化財]として採択される。 ◎平成20年度より12月1日～3日の三日間「奇術の日普及活動」を実施。 ◎平成24年内閣府より公益社団法人の認定を受ける。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>◎平成21年度 「本物の舞台芸術体験事業」Bブロック ◎平成22年度 「子どものための優れた舞台芸術体験事業」Dブロック ◎平成23年度 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」Iブロック ◎平成24年度 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」Hブロック ◎平成25年度 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」Eブロックに 於いて「ベストマジックフェスティバル」公演を行う。 ◎平成26・29年度 「文化芸術による子どもの体験事業」Jブロックに於いて 「Magic of MAGIC-Compilation」 平成30年度 「文化芸術による子どもの育成事業」Iブロックに於いて 「Magic of MAGIC-Compilation」 令和元年 「文化芸術による子どもの育成総合事業」Gブロックに於いて 夢と希望の創造空間「Magic of MAGIC-Compilation」の公演を行う。 令和3年度 「文化芸術による子供育成総合事業」 Aブロックに於いて 夢と希望の創造空間「Magic of MAGIC-Compilation」の公演を行う。</p>			
<p>特別支援学校等 における公演実績</p>	<p>◎平成22年度 横須賀市立養護学校・静岡県立沼津聴覚支援学校 ◎平成24年度 高知県立山田養護学校・愛媛県立みなら特別支援学校 ◎平成25年度 福井県立嶺北養護学校・京都府立八幡支援学校・京都市立鳴滝総合支援学校 ◎平成26年度 宮崎県立延岡しろやま支援学校 ◎平成29年度 栃木県立足利中央特別支援学校 ◎平成30年度 長崎県立桜が丘特別支援学校 ◎令和3年度 北海道余市養護学校しりべし学園分校 にて、上演の実績があります。 ※学校公演と同じく出演者個人で障害保険福祉センター等でも演じている奇術師もあり、 公演実施は可能です。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=tX6vXle_iBuQ</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間		学校の要望により1日2回公演に なる場合、前日仕込みあり約3時間	3時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7時～7時30分	7時30～10時30分	13時～14時45分	5～15分	15時～16時45分	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決 定後に確認します。(大幅な変更は認 められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
					19日	
	11月	12月	1月	計	58日	
	14日	15日	10日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	6名～8名
		鑑賞人数目安	全校を対象としております。500名以上になると鑑賞位置によって 集中力に温度差が出る場合があります。



公演に係るビジュアル
イメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 公益社団法人 日本奇術協会】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	全校を対象としております。 500名以上になると鑑賞位置によって集中力に 温度差が出る場合があります。
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>オープニングに5～6分のマジックを披露します。</p> <p>(A)マジックの倫理編: 奇術の基本原則より、代表的な7種類のマジックの原理を実演を交えて解説します。</p> <p>①「指先を使ったマジック」=カード・四つ玉・等を使ったマジックの実演・解説。</p> <p>②「道具に仕掛けがある」=二本の筒・ロープ・等を使ったマジックの実演・解説。</p> <p>③「秘密のタネを使う」=ゾンビボール・サムチップ等を使ったマジックの実演。</p> <p>④「目の錯覚を利用する」=錯覚を利用した図形の道具を生徒と一緒に目の前で起こる現象を体験します</p> <p>⑤「理科の原理を利用する」=水ジュースに変える等、科学(化学)の原理を使ったマジックの実演。</p> <p>⑥「算数の原理を利用する」=数字を当てるマジック等、生徒と一緒に実演。</p> <p>⑦「相手の注意をそらす」=いかに観客の目をそらすかの演技(ミスディレクション)を解説と実演で鑑賞してもらいます。</p> <p>(B)マジックの歴史編: 最古のマジックから現代のマジックまで奇術の歴史を実演を交えて解説します。 ※以上のマジックは学校での勉強が原理に繋がっている事を感じてもらいます。</p> <p>(C)実技編: 教材を使いマジックを体験・習得してもらいます。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>マジックの不思議さを楽しんでもらうには、実際にマジックを鑑賞する事が大切です。 生徒に配布した教材テキストには代表的なマジックの原理がいくつか表記されています。 原理や基礎知識を学び、自己表現力や演出・構成力・コミュニケーションを養ってもらう事を意図としております。</p> <p>また、マジックが上達する一番の秘訣は今、学校で学んでいる授業の科目をしっかり勉強する事が必要と感じてもらいます。そして、マジックワークショップの原理編では小学校で学ぶすべての科目と繋がっている事を再認識してもらおう。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>令和元年度においては保健室登校の生徒がマジックに興味を持ち、ワークショップを通して他の生徒とコミュニケーションが取れる様になった事例があります。</p> <p>令和3年度ではコロナウイルスの影響で参加出来ない学年やクラスにはZOOM等を使いリモートで指導しました。</p> <p>学校の希望によりワークショップを学年ごとに分けて行う。</p>		